

地方自治とはマスコミでは放送されにくく、流れたとしてもネガティブな報道がほとんど。とっても大切なのに分かり辛いものだと思います。

そこで、高石市の状況やそれに対して私の問題提起などを中心に分かりやすく、ご説明させていただきたいと思っています。

どうぞお気軽にご参加くださいませ。

日時：平成25年9月1日(日)
13時～15時

場所：千代田公民館
高石市千代田1-4-15

参加費：無料

持ち物：筆記用具などかまいません

お問合せ：080-2410-9040

「議会のないとき何やってるの？」という質問がいちばん多く、どれだけ地方議員の仕事が周知されていないかという厳しい評価を突き付けられていると受け止めています。

私の場合、大きく4つに分けられます。一つは、議会質問のための勉強です。本や資料を読み込んだり、他市に出向いて調査を行います。今回の施設の維持管理問題については伊丹市に、子宮頸がんワクチンについて厚労省に出向いて調査をした結果です。二つ目は、この機関紙のように市民に周知するというものです。私たちの生活費も時間も市民から与えられたもので、いうならば雇用主ともいえます。市民への活動報告は最低限の仕事だと思っています。三つ目は、人材のネットワークを作ることです。議員は1人ではできません。様々な先進事例を高石市にフィードバックするために、また大局観を養うためにもネットワークの構築を心がけています。四つ目は、

「政治の分野だけを見ていたらいけない」という持論どおり、商工会議所などを中心として法曹、教育などの様々な異業種の方々とお話をさせていただく機会を作っています。

上記以外にも高石を盛り上げるイベントを考えたり、市民相談を受けたり、地域行事に参加したりなど多岐にわたるのが私の活動の内容です。時間の使い方が未熟なのでかなり多忙を極めています。そのせいか帰宅が遅くなる日が多いので、せめてもの貢献のつもりで保育所の送迎は私が行うようにしています。しかし、これはこれで保育行政を直に見るいい機会となっています。

つまり、生活そのものが政治に直結しているので、どれだけアンテナを張りつつ、気付きを多く得られるかということが肝要となってきます。

いずれにしろ、与えられた4年という時間は長いようで短いもの。そのなかで自分に何ができるか、何を遺せるかということをひたすら追求し、有効に時間を使わせていただいております。

■高石市議：畑中政昭 ■高石市羽衣3-4-16 ■gavhattan@hotmail.com
■tel：072-263-0522（携帯に繋がります） fax：072-350-0857

■昭和56年1月15日生 桃山学院高校卒、近畿大学卒、カンボジアでの体験、政治家インターンを経て
現状に危機感をおぼえ、政治の道を志す。■会派「高志会」■最近観てよかった映画「最強のふたり」

■続きはWEBで。 畑中政昭 検索 日進月歩の前号、政策など色々な記事を書いています。twitter、Facebook もやっていますのでお気軽に友達申請、フォローして下さい。



は た な か ま さ あ き

畑中政昭 高石市議
無所属/2期目

子どもたちにツケを のこさない政治。

何十年後かの未来の高石に、
責任を持つ政治を貫きます。
それは、おカネだけでなく、
教育も、環境も、防災も。



市政報告 / 発行元：畑中政昭

年金問題、国の抱える多額の国債、原発問題から惹起されるエネルギー問題の行く末。今までの政治がまったく未来のことを考えていないと言い過ぎになりますが、それでも現在のツケを未来に先送りしている実態が確かにあります。

高石市では、土地開発公社の抱える多額の負債を起債に借り換えました。これは、借金を消費者金融で自転車操業してしまっている状態から、全額をローンに変えるという手法で、将来の負担が大きく減ることになります。「おカネ」の分野においては、高石市は少しずつでも未来への先送りを減らしていつているといえます。

しかし、未来の子どもたちへ先送りしている問題は「おカネ」だけではありません。6月議会では、施設の維持管理を先送りしていると指摘しました。必ず建物は老朽化されていきます。いつかは大規模な修繕をしなければなりません。そのときに「おカネがないからできない」は通用しません、施設の管理者は高石市なのですから。

マンションが大規模修繕に向けて修繕計画を策定し、定期的に積み立てをしているのに、行政はまったくできていないのが現状です。自分たちの管理すべき施設が、いつごろ老朽化を迎え、どれぐらいのコストが必要なのか、そのためにすべき対策はどういったものがあるのか、ということが少しも検討されていないまま今日まで「管理」されてきました。

この施設の維持管理をめぐる課題は将来必ず大きな問題になります。未来を見据え、今のうちから手を打っていくべきだと主張したのが、今回の質問のメインテーマです。

高石市議会議員 畑中政昭 拝